



さいと

第101号

令和2年8月1日発行

市議会だより

令和3年6月中旬の完成を目指し、
市役所新庁舎の建設が進んでいます！



令和2年4月



令和2年6月



令和2年7月

●5月臨時会の概要●

令和2年第2回臨時会は5月1日に招集。正副議長選挙などが行われ、新たな議会構成が決まりました。

また、市長提出議案10件、議員提出議案1件、報告案件1件の審査を行い、その結果いずれも原案可決（うち6件を承認、3件を同意）としました。

●6月定例会の概要●

令和2年第3回定例会は6月9日に招集。6月26日までの会期で、市長提出議案15件、議員提出議案2件、報告案件4件、請願1件について審査を行いました。

その結果、市長提出議案はいずれも原案可決（うち2件を承認、2件を同意）、議員提出議案についても原案可決としました。また、請願1件については採択としました。

主な掲載内容

- ◎永年勤続表彰 …P2
- ◎議会構成 …P2
- ◎一般質問 …P3~7
- ◎議案審議結果 …P8~9
- ◎委員会審査報告 …P10~12
- ◎請願審査結果 …P12

西都市議会
ホームページ



西都市議会

検索

マチイロ



ダウンロードは
こちらから↓



さいと市議会だより
アプリで配信中！

全国市議会議長会 永年勤続表彰

このほど、荒川昭英議員、田爪淑子議員、太田寛文議員、岩切一夫議員が10年の議員永年勤続の功勞により、全国市議会議長会から表彰されました。



荒川昭英 議員

平成22年4月、初当選
現在3期目
この間、副議長、文教厚生
常任委員長、新田原基地
対策調査特別委員長等を
歴任。



田爪 淑子 議員

平成18年4月、初当選
現在3期目
この間、文教厚生常任委
員長、総務常任副委員長、
議会改革対策調査特別副
委員長等を歴任。



太田寛文 議員

平成22年4月、初当選
現在3期目
この間、副議長、監査委員、
総務常任委員長、議会運営
委員長、新田原基地対策調
査特別委員長等を歴任。



岩切 一夫 議員

平成22年4月、初当選
現在3期目
この間、総務常任委員長、
新田原基地対策調査特別
委員長等を歴任。

議会構成

臨時会が5月1日に開会し、新しい議会構成が決まりましたのでご紹介します。

(◎委員長 ○副委員長 敬称略)

産業建設常任委員会

- ◎ 米良 弥
- 村上 修乗
- 岩切 一夫
- 北岡 四郎
- 井上 司
- 井上 久昭

文教厚生常任委員会

- ◎ 兼松 道男
- 狩野 保夫
- 曾我部貴博
- 太田 寛文
- 田爪 淑子
- 荒川 昭英

総務常任委員会

- ◎ 黒木 吉彦
- 濱砂 磐
- 中武 邦美
- 山地 将生
- 橋口登志郎
- 荒川 敏満

常任委員会

議長

中武 邦美

副議長

荒川 昭英

議会運営委員会

- ◎ 兼松 道男
- 山地 将生
- 濱砂 磐
- 橋口登志郎
- 太田 寛文
- 荒川 敏満
- 北岡 四郎

議会改革 特別委員会

- ◎ 米良 弥
- 太田 寛文
- 曾我部貴博
- 北岡 四郎
- 井上 久昭

救急医療対策調査 特別委員会

- ◎ 狩野 保夫
- 山地 将生
- 橋口登志郎
- 田爪 淑子
- 荒川 敏満
- 黒木 吉彦
- 荒川 昭英

新田原基地対策調査 特別委員会

- ◎ 井上 司
- 濱砂 磐
- 村上 修乗
- 岩切 一夫
- 兼松 道男

特別委員会

監査委員(議員選出)

太田 寛文

市長の政治姿勢について、西都見湯医療センターについて



新緑会
岩切 一夫

問① 西都市の財政状況について押川市長の就任時には約70億円近くの基金(貯金)があり、この基金は現在、約48億円になっている。また、起債(借金)は93億円だったのが約125億円に増えている。一人当たりの借金は約42万円。基金(貯金)が減少し、起債(借金)が増加していく今後の財政運営の見通しについて見解を伺いたい。

答 一定程度の基金の減少や起債残高の増加はやむを得ないものと判断している。

問② 理事長選任の公募について評価委員会委員がどのような意見を発言されたのか個人名を伏せて伺いたい。

答 評価委員会では会議を非公開とし、会議録等は非公表とされることが決定した。

問③ 評価委員会の非公表の議事録は作成してあるのか伺いたい。

答 作成していない。

問④ 前回の3月一般質問の答弁では、理事長の公募は透明性をもって選考すると言われたが、非公表・非公表の理由は何か伺いたい。

答 評価委員会が決定されたと同じ理由は伺っていない。

問⑤ 理事長の公募については、市民の大半が本当は決まっていたのではと思っているが、見解を伺いたい。

答 熟慮を重ね、新理事長を任命した。

問⑥ 二次救急の状況について昨年の4月、5月と今年の4月、5月の合計患者数を伺いたい。

答 本年4月、5月の患者数は延べ3047人で、昨年と比較すると、761人減少している。

問⑦ 脳神経外科、呼吸器内科の先生は、6月いっぱいまで退職されると聞いている。2人も辞められたら医療センターの崩壊にならないのか伺いたい。

答 2人の医師に対しては、慰留に努める。

問⑧ 医師の確保はできているのか伺いたい。

答 現段階については、新たな医師の確保には至っていない。

市政の総括と評価、任期満了に伴う市長選出馬について



令和の会
黒木 吉彦

問① 市政のこの3年半の総括と評価を伺いたい。

答 私は、市長就任からこれまで、市民ファーストの視点で、西都人会議を開催するなど、市民の意見に耳を傾け、市政の運営に取り組んできた。この間、新病院や新庁舎の建設など、まずは就任前からの課題を解決することに特に力を注いできたところであり、新庁舎については、既に着工し、工事が進んでいる。また、新たな事業として、市内全域のブロードバンド整備や防衛省の補助を受け、西都原運動公園野球場の改修を開始したところである。私はこの3年半、非常に厳しい財政状況の中において、各種補助金やふるさと納税等の財源確保にも積極的に取り組みながら、市政を着実に運営して参ったと考えている。

問② 任期満了に伴う次期市長選出馬について伺いたい。

答 まだ道半ばの公約もある。これらの公約を実現することが私の責務であると考えているので、2期目の市長選出馬を決意した。今後、少子高齢化、人口減少が急速に進むことが予想される中、人口減少に歯止めをかけ「住んでみたい」「住み続けたい」と思える西都市を守るため、さいと未来創生総合計画並びに第7次行財政改革大綱の計画を推進し、市民みんなで創る元気な西都を目指していく。

問③ 地域医療を担う西都見湯医療センターの新病院整備を計画的に進めるとのことだが、現状と新病院完成時期を伺いたい。

答 まず、新病院建設整備計画の現状だが、現在の基本計画(案)の修正を行う考えである。今後は、医療センターとともに、地元医師会との調整を重ねていきたいと考えている。次に新病院の完成時期は、基本計画(案)の修正と合わせて、スケジュールについても再検討を行う考えである。

新型コロナウイルスの課題と対応・対策について



公明党
曾我部 貴博

問① 災害時の避難所での感染予防のための備蓄品の購入予定を伺いたい。

答 間仕切り用として簡易型テントを購入予定。他にも感染防止に有効な資機材等を検討し整備を進める。

問② 災害時の長期の停電に備え、市民への携帯電話の充電サービスとして空気発電池を購入できないか考えを伺いたい。

答 市で備蓄している発電機及び、今後設置予定のカーポート発電装置等を活用しつつ、空気発電池について調査・研究をする。

問③ 市の防災倉庫内の備蓄品が増えており、庫内が手狭になっているが整理の計画はないのか伺いたい。

答 今後、穂北地区、三財地区及び新庁舎建設に伴い新設される防災倉庫への分散をしていく。また備蓄品用の棚を購入予定なので、順次整理していく。

問④ 大規模な災害が発生しても感染拡大防止の観点から、全国か

らの災害ボランティア等が被災地に入る事が厳しい。地域のNPO等民間支援団体と予め連携体制を構築しておくべきと考えるが見解を伺いたい。

答 改めて連携体制の構築・強化、情報共有の推進等に取り組む。

問⑤ コロナ禍で避難所を開設する場合、3密回避を見据えた避難所運営マニュアルは作成しているのか伺いたい。

答 避難所の種別ごとに作成し、全職員に対して通知している。今後、説明会を開催する。

問⑥ コロナ禍にあつて、少しでも市民の負担軽減の観点から給付や支援の申請や届出等、手続のオンライン化の推進が不可欠と考える。第2波への備えを含めた今後の取り組みを伺いたい。

答 今後、更なる推進へ向け研究する。

問⑦ 第2波等で長期休校になった場合、自宅でのオンライン授業等を見据えた市内の通信環境整備の取り組みを伺いたい。

答 民設民営型のブロードバンド基盤整備に取り組んでおり、令和4年度までに市内全域での整備を進める予定である。

医療センター整備計画・新型コロナウイルス感染症の影響と対策



日本共産党
狩野 保夫

問① 西都児湯医療センター整備計画と24時間救急医療について濱砂新理事長の就任によって医師会も加わった新理事体制が実現した。新体制による医療センター運営に何を期待されるのか。

答 三位一体での取組みが地域医療の充実につながると考えている。濱砂理事長には地元医師会や市と連携し、地域医療の向上を図っていただけると考えている。

問② これからの課題にどのような責任を果たされるのか。

答 市民の願いである新病院建設と24時間一次救急医療の早期実現を目指したい。

問③ 新病院建設予定地の鑑定結果に対する見解は。

答 地元医師会、医療センター、市が連携を図り、議論を深め、新病院建設を着実に進めたい。

問④ 新型コロナウイルス感染症による、影響と支援策を伺いたい。

答 影響は飲食・宿泊・農業等様々な業種に及んでいる。商工分野で

は本市の実情に応じた独自の支援策も実施している。消費喚起を促すプレミアム付商品券発行事業を実施したい。農業分野では、西都産農畜産物の販売促進につながる通信販売の強化や肥育農家の経営安定のための牛マルキン制度の上乗せ助成を講じた。今後の支援策は、農畜産物の販売促進の継続や野菜・花き・果樹・茶等の次期作支援などに取り組みたい。

問③ 国土交通省は「豪雨が見込まれる際に、ダムの水を事前に放流して、ダムの空きを増やす態勢を整える」とのガイドラインを公表した。対象は「一級河川にある利水ダム」と「利水と治水の機能を、併せ持つ多目的ダム」であるが、2級河川のダムも、放流設備が整っていれば適用を求めるとされている。一ツ瀬ダムは、非常用放流施設がある。杉安ダムも放水路が完成したので事前にダムの水位を下げる事ができる。どのような検討がされているのか伺いたい。

答 県が管理するダムは、県と企業局の間で一級水系の状況を踏まえ事前放流に向けて協議を進めていくと伺っている。一ツ瀬ダム、杉安ダムについても、今後、県と協議を進めていくと伺っている。

政治姿勢の市政運営と医療センターと防災対策について



創生会
荒川 昭英

問① 市長就任から、これまでの市政運営の成果について、どの様に判断されているのか伺いたい。

答 市民ファーストの視点で、これからの少子高齢化や人口減少が進む中においても、持続可能な市政運営を目指して取り組んできた。各種補助金やふるさと納税等の財源確保に取り組みながら、市内全域へのブロードバンド整備や防衛省の補助を確保し、野球場の改修等の新たな事業に着手したことも大きな成果と考えている。また、新病院についても、新たな理事長の就任により、医療センターと市と医師会の協力体制が整ったので、今後しっかりと取り組むことができると考えている。

問② 令和3年2月に市長1期目の任期満了を迎える。2期目は更なる実行の期として、市政を担うことが責務と考えるが、市長の考え・決意について伺いたい。

答 私の公約の内、まだ道半ばの公約もあるので、それを実現していく

ことが責務と考えており、2期目の市長選出馬を決意した。

問③ 医療センターの新理事長が就任されて間もないが、運営の現状をどの様に捉えているのか、また運営の在り方について、どの様に期待されているのか伺いたい。

答 市との連携、医師会や宮崎大学等との調整、医療センター内の体制整備に努められている。濱砂理事長については、これまでの経験や知識を活かされて地域医療の水準の向上を図っていただくと共に、リーダーシップを発揮して業務遂行をしていただけると考えている。

問④ 新病院整備については、社会経済が急激に変動している情勢でもあり、今後の病院運営方針にも照らして、整備計画の内容を見直すべきと考えるが伺いたい。

答 新病院建設は着実に推進する考えである。調整を重ねながら、基本計画(案)の修正を始めとする建設に向けた作業を進めて参りたい。

問⑤ 防災対策として、感染症に対応できる避難所の設置に向けての考えを伺いたい。

答 通常よりも多くの避難所を開設する予定である。発熱者等の対応スペースの設置が行える施設を開設したい。

公文書のあり方について



信・西興会
北岡 四郎

問① 公文書管理のあり方について、消えた年金記録問題等、不適切な文書管理実態が明らかになる事件が相次いで発生した。そこで公文書等の管理に関する法律が公布された。公文書管理法は、福田元首相が2008年に設けた有識者会議の最終報告をもとに制定された。福田元首相は「公文書は、国の歴史を作る。城の石垣として一つ一つ積み上げる石のようなものだ。石そのものや石の置き方が悪いと国が崩れてしまうし、海外から日本は信用できないと言われる。公文書管理がしっかりしていることは、民主主義が成り立つ前提条件だ。何のために公文書を作り、管理するのかについての意識を高めるような研修を徹底的に受けさせるべきだ。将来の危機管理のためにも、しっかりと記録を残してほしい」等々述べている。歴史的公文書の管理、事業決定における意思形成過程の文書も保存すべきである。公文書の保存・理念について、市長の見解を伺

いたい。

答 西都市において重要な事務事業で、後年に引き継ぐべきであると考えられるものについては、意思決定に至った過程に関する文書も一定の範囲で保存していくことが必要である。何をどのように保存するかは今後、公文書管理のあり方について研究して参りたい。

問② 口蹄疫対策会議の会議録は永年保存するつもりはないか。

答 今後の家畜防疫の参考にするため、永年保存文書として取り扱っている。

問③ 過去に水田砂利を採取された農地の記録は、どのように保管されているのか伺いたい。

答 転用許可された農地は、農地法第4条、第5条許可台帳として永年保存している。

問④ 昭和47年頃に工事が行われた、高砂浄水場から童子丸配水池までの送水管等の工事資料等は保管されているのか伺いたい。

答 40数年前の事業であるため、工事資料等については見当たらない。

問⑤ 文書の電子化の考えについて伺いたい。

答 今後、研究して参りたい。

救急医療の在り方と鑑定結果及びコロナ対策について



信・西興会
田爪 淑子

問① 西都児湯医療センターの4月以降の体制はどのようなようになったのかお尋ねしたい。

答 院長に小田先生を任命し、濱砂先生は理事長職に専念する事とされた。6月1日には赤塚事務局長を迎えられ、事務局体制も一新された。

問② 4月・5月の救急搬送受け入れ状況は、昨年と比べてどうあったかお尋ねしたい。

答 4月は昨年よりも20件の減少であり、5月は昨年よりも18件減少した。

問③ 脳や整形外科の手術には定評があったが、現在もその事には変わらないのかお尋ねしたい。

答 手術実績は4月が19件で昨年よりも7件の減少、5月が10件で昨年よりも11件の減少であった。

問④ 手術に欠かせない麻酔科医はみえているのかお尋ねしたい。

答 宮医大からの派遣は9月からであり、現在は民間病院をお願い

して来ていただいている所である。

問⑤ 新病院建設予定地の不動産鑑定評価について結果が出たようだが、その内容をお尋ねしたい。

答 市の情報公開条例第9条に照らし合わせると、不開示情報となり公開はできない。

問⑥ 結果が公開されなければ、審査はできないと考えるが、どう思われるかお尋ねしたい。

答 今後、事業用地取得に伴い予算計上する際に審議していただきたい。

問⑦ 新型コロナウイルスに関して、国から特別定額給付金が支給されたが、給付状況についてお尋ねしたい。

答 6月16日現在、申請書の受理件数は13490件あり、給付件数は13300件、給付率は95.8%である。

問⑧ 支援制度や助成金については種類が多く分かりにくい。問い合わせ等は無かったかお尋ねしたい。

答 国や県が実施する制度は、事業者がオンライン申請することとなり、西都商工会議所や三財商工会が手続きに関してのサポートをすることとしている。

新型コロナウイルス感染症対策並びに医療センターについて



創生会
米良 弥

問① 新型コロナウイルス感染症拡大による市民生活、産業活動への影響の認識と対策、その効果について伺いたい。

答 国の緊急事態宣言等により、市民の日常生活や市内の様々な業種に影響が及んでいる。市民の生命を守るための感染防止を第一に、終息後速やかに市民生活や地域経済を回復させることを念頭に支援策を講じた。効果については終息に至っていないので測りかねるが、市民の反応は大きい。

問② 商工業者等への事業継続支援策について伺いたい。

答 市単独事業の事業所経営継続助成金(家賃助成)は97件の事業者に助成、飲食サービス・宿泊業等事業継続給付金(売上減少への給付)は118件の事業者に給付した。

県単事業の小規模事業者事業継続給付金は122件の事業者が申請した。

問③ 農業への影響と支援策について伺いたい。

答 畜産においては、和牛枝肉価格

の低下により厳しい経営状況となっている。2月から牛マルキン交付金が発動しているが、市では西都市肥育農家緊急支援対策事業を創設し支援を行う。今後も状況を注視し必要な支援策を講じる。子牛生産やお茶については、国庫事業等を活用して支援する。また、宮崎牛やマンゴー等農畜産物の消費拡大・販売対策に市単独事業を創設し、積極的に取り組んでいる。

問④ 小中学校の休業等への対応について伺いたい。

答 臨時休業中の児童生徒に対し、学習習慣や基本的な生活習慣が損なわれないよう工夫してきめ細やかに対応した。授業日数不足については夏季休業の短縮や教育課程の再編で対応する。今後も安心して学べる環境づくりを行う。

問⑤ 西都児湯医療センター新理事長就任に伴う新病院建設の方針及び経営改革について伺いたい。

答 新病院建設の基本的な方針は維持しながら、24時間一次救急医療も含め、医師会、医療センターと連携して着実に取り組んでいく。経営改革については、医療センターと今後の方向性について協議しながら進める。

新型コロナウイルス感染症・西都見湯医療センターについて



新風会
山地 将生

- 問①** 「西都市新型コロナウイルス感染症対策飲食サービス・宿泊業等事業継続給付金」の対象条件の内、飲食サービス・宿泊業以外の事業者の対象を75%減に設定した経緯について伺いたい。
- 答** 県の「小規模事業者事業継続給付金」と一体的な支援をする為で拡大していただきたい。
- 問②** 先程の対象条件を50%減まで拡大していただきたい。
- 答** 現時点では考えていない。
- 問③** 上半期に交付されなかった、まつり等の補助金の今後の事業検討について伺いたい。
- 答** 収束状況を見て、復興イベントの計画をしたいと考えている。
- 問④** 市民が企画する、気運低下の払拭を図る活動を支援するのに活用できる事業はないか伺いたい。
- 答** 「西都市市民提案型まちづくり事業補助金」があるので、資金面で支援していきたい。
- 問⑤** 医療センター建設予定地近隣のドクターヘリ場外離着陸場所には、3つの小中学校が含まれてい

る。建設予定地にヘリポートを設置した場合、この3校への離着陸を最大限しない旨を申し入れたい。この事は可能か伺いたい。

答 可能である。

問⑥ 建設予定地周辺に必要とされる道路整備について伺いたい。

答 大規模な道路改良工事は必要ないと考える。

問⑦ センターの患者さんの中には、コミュニケーションバスを利用して通院されている方もいる。建設予定地が現在地以外になった場合、路線の整備は可能なのか伺いたい。

答 見直しの必要はあると考える。

問⑧ これらの皆さんは、通院時等限られた条件の中でしか街中へ買い物に來られない。先程の様になった場合、現状と同じ環境を整備する事は可能なのか伺いたい。

答 買い物ができる環境整備は現実的でないと考えている。

問⑨ 建設予定地の騒音レベルについて伺いたい。

答 住宅防音工事補助区域となる第一種区域である。

問⑩ 今後も市民への説明の機会を設けていきたい。

答 今後も事業の進捗に合わせて、市民にお知らせしながら、ご理解が得られる様に努めて参りたい。

教育行政について・西都見湯医療センターについて



新緑会
橋口 登志郎

- 問①** 新型コロナウイルス対策による教育の影響について伺いたい。
- 答** 休業による授業時間不足により、学力低下、知徳体のバランスの取れた育成が損なわれる可能性もあるが、夏期休業短縮や指導方法を工夫しながら、児童生徒の「学びの保障」に努める。また感染症対策を講じながら実施していく。
- 問②** 学力の底上げを伺いたい。
- 答** 本市の一番は学力向上であり、児童生徒の学力の底上げをどう図るかが鍵と教職員は十分理解している。そのため授業の工夫や少人数によるきめ細やかな指導、補充的な指導を行っている。
- 問③** 補充的な学習について教育長の見解を伺いたい。
- 答** 補充的な学習によって理解不足を解消し、放課後子ども教室により更なる学力向上を図りたい。
- 問④** 西都市情報公開条例の目的、不開示情報の理由を伺いたい。
- 答** 市民の知る権利を尊重し、公正で開かれた市政の発展のため制定された。個人情報と考えるので不開示情報と考える。

問⑤ 名前・住所は黒塗りにし、市税を使うのだから金額を伺いたい。

答 不開示情報と考える。

問⑥ 知る権利を奪うのは、市民の代表の議会の軽視ではないか伺いたい。

答 軽視していると考えていない。

問⑦ 用地費8億5千万円の内訳の解体費が消えている理由を伺いたい。

答 今後の基本計画の修正と併せて検討していきたい。

問⑧ 理事長公募の要領が現在の状況と違うのはなぜか伺いたい。

答 センター内の体制整備は理事長の権限で、法に逸脱していない。

問⑨ 常勤の定義を伺いたい。

答 常勤の定義はない。

問⑩ 脳出血、脳梗塞、くも膜下出血の対応はできるのか伺いたい。

答 現実的に、当面は難しい。

問⑪ 退職される医師について伺いたい。

答 内科医師1名、及び脳神経外科医師1名である。

問⑫ 退職されるのは副院長、呼吸器内科長、派遣医、開業される医師1名、計4名か伺いたい。

答 慰留を続けている。

問⑬ 財政を考え、新病院建設は医療体制が整ってからのと思うが、市長の考えを伺いたい。

答 三位一体で進めていきたい。

■第2回臨時会(5月1日)及び
第3回定例会(6月9日~26日)で審議された議案の概要と結果

○全会一致
□賛成多数

条例関係

第3回定例会			
番号	議案名・概要	審議結果	
第84号	西都市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について(家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の整備を行おうとするもの)	原案可決	○
第85号	西都市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について(特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の整備を行おうとするもの)	原案可決	○
第86号	西都市重度障害者の医療費助成に関する条例の一部改正について(重度障害者への医療費助成について、現物支給を可能とするため、所要の整備を行おうとするもの)	原案可決	○
第87号	西都市国民健康保険条例の一部改正について(新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に対する傷病手当金を創設するため、所要の整備を行おうとするもの)	原案可決	○

予算関係

第3回定例会			
番号	議案名・概要	審議結果	
第88号	令和2年度西都市一般会計予算補正(第5号)について(総務費、教育費など、総額1億5,117万2千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	○
第89号	令和2年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第1号)について(国民健康保険税の賦課額決定などに伴い、総額3,521万8千円を減額補正しようとするもの)	原案可決	○
第93号	令和2年度西都市一般会計予算補正(第6号)について(総務費、民生費など、総額4億2,762万8千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	○

その他

第2回臨時会			
番号	議案名・概要	審議結果	
第60号	権利の放棄について(一ツ瀬川土地改良区に対する貸付金に係る請求権を放棄することについて、議会の議決を求めようとするもの)	原案可決	○
第71号	専決処分の承認を求めることについて(地方税法等の一部改正に伴う、西都市市税条例の一部改正)	承認	○
第72号	専決処分の承認を求めることについて(地方税法施行令の一部改正に伴う、西都市国民健康保険税条例の一部改正)	承認	○
第73号	専決処分の承認を求めることについて(介護保険法施行令の一部改正に伴う、西都市介護保険条例の一部改正について)	承認	○
第74号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度一般会計予算補正第14号・特別交付税及び市債の決定等に伴う、予算補正)	承認	○

その他

第2回臨時会			
番号	議案名・概要	審議結果	
第75号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度一般会計予算補正第2号・新型コロナウイルス感染症対策の実施に伴う、予算補正)	承認	○
第76号	監査委員の選任について 阿萬 浩 氏(再任)	同意	○
第77号	固定資産評価員の選任について 程内 公一 氏(新任)	同意	○
第78号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度一般会計予算補正第3号・新型コロナウイルス感染症対策の実施に伴う、予算補正)	承認	○
第79号	監査委員の選任について(※議員選出) 太田 寛文 氏(新任)	同意	□
第3回定例会			
番号	議案名・概要	審議結果	
第80号	専決処分の承認を求めることについて(地方税法等の一部改正に伴う、西都市市税条例の一部改正)	承認	○
第81号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度一般会計予算補正第4号・新型コロナウイルス感染症対策の実施に伴う、予算補正)	承認	○
第82号	教育長の任命について 川井田 和人 氏(再任)	同意	○
第83号	教育委員会委員の任命について 船橋 妃美 氏(新任)	同意	○
第90号	給食配送車購入に伴う売買契約の締結について(指名競争入札に付した給食配送車の購入について、売買契約を締結しようとするもの)	原案可決	○
第91号	令和元年度西都市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(未処分利益剰余金の処分について、議会の議決を求めようとするもの)	原案可決	○
第92号	市道路線の認定について(地域の交通事情及び公益的見地から市道路線に認定しようとするもの・椎原鳥ノ巣線)	原案可決	○
第94号	財産の無償譲渡について(地域の活性化に資する事業等に使用するため、旧銀上小学校校舎及び敷地を無償で譲渡しようとするもの)	原案可決	○

議員提出議案

第2回臨時会			
番号	議案名・概要	審議結果	
第2号	西都市議会委員会条例の一部改正について(西都市課設置条例の一部改正及び議会運営委員会の委員定数を変更することに伴う、条例の一部改正)	原案可決	○
第3回定例会			
番号	議案名・概要	審議結果	
第3号	社会資本の整備促進を求める意見書の提出について	原案可決	○
第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決	○

総務常任委員会

今期定例会において、総務常任委員会に付託されました議案4件及び請願1件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第80号 専決処分の承認を求めることについて（西都市市税条例の一部改正）、議案第81号 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度西都市一般会計予算補正（第4号）について）であります。

これらの議案2件につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり承認すべきものと決しました。

なお、議案第81号の審査の過程において、ある委員より「この度の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、本市の対応については、西都市新型コロナウイルス感染症等対策行動計画に準じて実施している。ありがたいことに本市では感染者は発生していないが、もし感染者が発生し、感染拡大が起こるなど

の有事の際には、現在の体制では感染者対応に苦慮し、予防対応は不可能になるのではないかと懸念している。そこで、危機管理課のなすべき役割を今一度考慮し、感染拡大にならない対応をとる所管として配置すべきではないかと考える。最悪の事態を想定し、見直すところがあれば見直し、今後の感染者の発生、感染拡大に至らないよう要望する」との意見・要望がありました。

次に、議案第88号 令和2年度西都市一般会計予算補正（第5号）について（本委員会に付託された部分について）、議案第93号 令和2年度西都市一般会計予算補正（第6号）について（本委員会に付託された部分について）であります。

これらの議案2件につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、請願第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願書であります。

本件については、継続審査の意見が

出されましたが、可否同数のため、委員会条例第17条の規定により継続審査をすることについては否決されました。採決の結果、可否同数のため、委員会条例第17条の規定により、「願意妥当」と認め、採択すべきものと決しました。

文教厚生常任委員会

今期定例会において、文教厚生常任委員会に付託を受けました議案9件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第84号、第85号、第88号、第90号 についての議案4件につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。なお、議案第88号の審査の過程において、ある委員より「市立保育所入所児童等支援事業補助金が計上されているが、これは、来年3月末をもって廃園となる杉安、山田、上三

財保育所の保護者が実施するお別れイベント等への補助金。地域において長年子育てに貢献してきた保育所であり、心に残るイベントとなるよう心を広く支援していただくよう要望したい」、「校内通信ネットワーク整備事業による教育効果に期待しているが、これらの事業は、多額の費用負担が伴うだけに、慎重な対応を要望したい」との意見・要望がなされました。

次に、議案第86号 西都市重度障害者の医療費助成に関する条例の一部改正についてであります。本案については、種々質疑の後、ある委員より「本案は、重度障害者の切実な声や実施主体である市町村からの要望、県議会における請願の採択を踏まえ、現行の課題である煩雑な償還手続き等の軽減を目的に、重度障害者の通院の医療費助成において現物給付化を実施するための改正。医療費公費負担の制度の改善は、関係者の皆さんの長年の願いであり賛成したい。本市には、本条例に該当される方は5月30日時点で736人であるが、生活支援の立場から、無料化を強く要望したい」

財保育所の保護者が実施するお別れイベント等への補助金。地域において長年子育てに貢献してきた保育所であり、心に残るイベントとなるよう心を広く支援していただくよう要望したい」、「校内通信ネットワーク整備事業による教育効果に期待しているが、これらの事業は、多額の費用負担が伴うだけに、慎重な対応を要望したい」との意見・要望がなされました。

との賛成討論がなされ、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第87号 西都市国民健康保険条例の一部改正についてであり

ます。本案については、種々質疑の後、ある委員より「本案は、新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に限定して傷病手当金を支給するものであり、感染者救済の立場から賛成したい。これを機会に、国保会計においても新型コロナウイルス感染症以外でも傷病手当を支給されることを強く要望したい」との賛成討論がなされ、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第89号 令和2年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第一号)についてであります。

本案については、種々質疑の後、ある委員より「本案は、国民健康保険税の賦課額決定などに伴う補正予算である。今回の提案に当たっては、保険税算定の税率を据置く一方において、基金9千万円や繰越金5千万円を繰入ることにより、当初予算で予想された

税負担を抑えるための措置が図られているので賛成したい。更なる負担軽減のために税率の引き下げを強く要望したい」との賛成討論がなされ、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第93号 令和2年度西都市一般会計予算補正(第6号)につ

いて、本委員会に付託された部分についてであります。本案については、種々質疑の後、ある委員より「本案には、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた子育てと低所得のひとり親世帯に対する『ひとり親世帯臨時特別給付金』を支給するための予算が提案されているので賛成したい」との賛成討論がなされ、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第94号 財産の無償譲

渡についてであります。本案については、現地調査を行い、種々質疑の後、ある委員より「本案は、地域の活性化に資する事業等に使用するため、旧銀上小学校舎及び敷地を社会福祉法人善仁会に対して、無償で譲渡しようと

するものであり賛成したい。銀上小学の廃校跡の有効活用は、行政の大きな課題であった。本事業の成功は、山村地域であり、高齢化と人口減少が進む東米良地域振興への希望につながる事業である。それだけに、本計画の成功のために、行政としても積極的な支援策を図られることを強く要望したい」との賛成討論がなされ、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。な

お、審査の過程において、ある委員より「この議案は、山間地域の活性化のために、有効な事業であり、市と連携しながら推進していただきたい。また、市有財産譲与仮契約書第2条第2項の中で、用途の変更・廃止するときには、市に申請し承認を受けるとなっているが、そのようなことにならないように市と十分協議していただくよう要望したい」また、ある委員より「申請の理由は地域の活性化に資する事業を実施するためとある。利用計画には、①通所介護事業及びボランティアセンター事業、②市民活動団体『東米良創生会』と連携した子育て

支援事業、③地域住民が無料で活用できる場の提供とある。『東米良創生会』の構成員は地域住民、地域住民以外の個人や企業と説明を受けた。銀鏡地区には山村憩いの家『しろみ』として、西都市社会福祉協議会へ業務委託している事業もある。この事業は地域住民の願いも受けて行われている事業のようである。この事業についても地域住民と話し合いを重ねて、譲渡先の施設を利用しての事業展開をしていただくことを要望したい。また、『東米良創生会』の取り組みや利用状況等を市内外へ広く発信していただき、東米良地区の活性化につなげていただくよう重ねて要望したい」との意見・要望がなされました。



旧銀上小学校舎の現地調査を行う文教厚生常任委員会

産業建設常任委員会

今期定例会において、産業建設常任委員会に付託されました議案4件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第81号 専決処分の承認を求めることについて（本委員会に付託された部分について）であります。本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり承認すべきものと決しました。

次に、議案第88号 令和2年度西都市一般会計予算補正（第5号）について（本委員会に付託された部分について）、議案第91号 令和元年度西都市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてであります。

これらの議案2件につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第92号 市道路線の認

定についてであります。

本案については、現地調査を行い、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。



しいばるとりのす 椎原・鳥之巢線の現地調査を行う
産業建設常任委員会

請願審査結果

地方財政の充実・

強化を求める意見書の

提出を求める請願書

陳情者

西都市役所職員労働組合

執行委員長 兒玉 尚也

審査結果 採択

可決された意見書

社会資本の整備促進を

求める意見書

（提出先）

衆議院議長・参議院議長

内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣

農林水産大臣・国土交通大臣

可決された意見書

地方財政の充実・

強化を求める意見書

（提出先）

内閣総理大臣・内閣官房長官

総務大臣・財務大臣・経済産業大臣

内閣府特命担当大臣

（地方創生・規制改革担当）

内閣府特命担当大臣

（経済財政政策担当）

編集後記

サッカーでは、無観客試合のことを「リモートマッチ」というそうです。プロ野球も無観客の中、6月19日に例年より3か月遅れての開幕となりました。さて、コロナ禍での6月議会（一般質問）は、質問時間を30分に短縮して行われ、10名が登壇。質問内容は多くの議員が「コロナ対策」や「新病院建設に伴う問題等」でした。傍聴席は「無観客」ではなく、多くの方が傍聴に来ていただき、なかには3日間連続で傍聴にいられた方も。議員と市民の皆様との「関心事」が一致した一般質問であったと感じました。今後、多くの方に傍聴していただける『親しみある議会』に努めてまいります。

— 議会報編集委員会 —

- 委員長 兼松道男
- 副委員長 狩野保夫
- 委員 濱砂 磐
- 〃 曾我部 貴博
- 〃 岩切 一夫
- 〃 太田 寛文
- 〃 田爪 淑子
- 〃 荒川 敏満